

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 2 月 24 日 (2005.2.24)

【公開番号】特開 2000-47385 (P2000-47385A)
【公開日】平成 12 年 2 月 18 日 (2000.2.18)
【出願番号】特願 平 10-170197
【国際特許分類第 7 版】

G 0 3 F 7/039

G 0 3 F 7/004

H 0 1 L 21/027

【F I】

G 0 3 F 7/039 6 0 1

G 0 3 F 7/004 5 0 4

H 0 1 L 21/30 5 0 2 R

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 24 日 (2004.3.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) 環状脂肪族炭化水素骨格を有し、酸の作用により分解してアルカリ可溶性となる重合体、

(B) 活性光線により酸を発生する化合物、

(C) 分子量が 1 0 0 0 以下のカルボン酸無水物、

(D) 含窒素塩基性化合物、並びに

(E) フッ素系及び / 又はシリコン系界面活性剤

を含有することを特徴とするポジ型感光性樹脂組成物。

【請求項 2】

分子量が 2 0 0 0 以下であって、酸の作用により分解し得る基を有し、アルカリ溶解性が酸の作用により増大する低分子酸分解性化合物をさらに含有することを特徴とする請求項 1 に記載のポジ型感光性樹脂組成物。

【請求項 3】

活性光線が 2 2 0 n m 以下の遠紫外光であることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載のポジ型感光性樹脂組成物。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のポジ型感光性樹脂組成物により膜を形成し、当該膜を露光、現像することを特徴とするパターン形成方法。